

ハンドボールNO.2

第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体 ハンドボール競技会 戦評報告書

競技日	平成27年10月 1日	試合番号	A-た
種別・回戦	成年男子 準決勝	会場	ビッグホエール

さいたまけん 埼玉県			ひろしまけん 広島県			得点チェック欄	
31	11	前半	10	23	前半	<input type="checkbox"/>	
	20	後半	13		後半	<input type="checkbox"/>	
		第1延長 前半			第1延長	<input type="checkbox"/>	
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 後半			合計点	<input type="checkbox"/>	
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>	

戦評	戦評委員氏名	仲井・清瀧
<p>広島県対埼玉県の強豪同士の対戦となった準決勝、広島のスローオフで開始。直後の35秒に埼玉が退場者を出し、広島が7mスローで先制。埼玉は再三攻め込むも、広島1番ゴールキーパー志水の好セーブに阻まれ、6分を過ぎて広島が5対2とリード。両チームともに攻撃的なディフェンスで共に警告・退場の出る激しい攻防となった。13分過ぎに広島が2名退場となり、埼玉が7mスローを決め6対4の2点差に詰め寄った。埼玉が数的優位を利用し1点差に詰めるが、広島は10番佐藤のロングを決め2点差のまま前半の終盤へ。埼玉が速い攻めで20分過ぎに2連取で同点、さらに5番岩永の速攻で逆転。直後に広島11番子安が取り返し再び8対8の同点。24分に埼玉6番豊田がサイドから決め埼玉が1点リード、広島がタイムアウトを請求。26分に埼玉が退場者を出し、直後に広島5番今井が決め再び同点、ここで埼玉がタイムアウトを請求。埼玉7番馬場がポストシュートを決めるが、広島11番子安のサイドシュートで同点。29分に埼玉11番夏山のシュートで1点勝ち越し、埼玉が11対10の1点差で前半を折り返した。両チームとも激しい攻防であつという間の30分であった。</p> <p>後半は埼玉のスローオフで開始。埼玉4番時村がポストから決め、さらに8番東長濱が速攻で2得点。広島5番今井がポストシュート、2番谷村が2連続で返す。埼玉が引き離しにかかったが広島も攻め続け、後半開始6分で埼玉15対14の1点差。その後、埼玉が3連取し、11分過ぎに4点差で広島がタイムアウト。直後に広島9番野村がサイドから決め18対15の3点差。さらに広島10番佐藤のカットインで2連取し1点差とするも、埼玉10番の柴山のミドル、6番豊田のステップシュートで取り返す。2点差の17分に広島が退場者を出し、この間に埼玉8番東長濱が2連取し22対18の4点差とした。さらに埼玉9番柳がポストシュート、2番渋谷がパスカットからの速攻を決め6点差に引き離し終盤へ。広島も果敢に攻め入るが、埼玉12番ゴールキーパーの村上の好セーブに阻まれ、なかなか点差を詰められない。埼玉は着実に得点し、26分で28対20の8点差をつけた。広島の2番谷村がロングを決めたところで、埼玉に続けて2名の退場。広島が攻め続けるが、広島8番仁平が決めたところでタイムアップ。31対23で埼玉が勝利した。前後半共にスピード感があふれる準決勝にふさわしい好ゲームであった。</p>		

送信担当記録委員

湯田 裕美

